

住民健診（がん検診等）

検診の種類	自己負担	対象者	検診場所	検査内容
胃がん検診	1,000円	40歳以上 65歳以上及び40歳以上の心身障がい者は受託医療機関でも受診できます	健診センター	胃部X線撮影 (バリウムによる検査)
肺がん・結核検診	400円	40歳以上	健診センター	胸部X線撮影 (医師が必要と認めた場合は喀痰検査も実施)
大腸がん検診 ※1	600円	40歳以上 65歳以上及び40歳以上の心身障がい者は受託医療機関でも受診できます	健診センター	便の潜血反応検査(2日法)
乳がん検診 ※2	1,000円	40歳以上で 偶数年齢 の女性	健診センター	乳房X線撮影(マンモグラフィ)
子宮頸がん検診	1,000円	20歳以上で 偶数年齢 の女性	健診センター 受託医療機関	子宮頸部の内診・細胞診
骨の健康度健診	1,000円	30～39歳の女性	健診センター	身体計測(身長・体重)、血圧測定、 脂質(中性脂肪・HDL、LDLコレステロール)、 尿検査(糖・蛋白)、貧血検査、骨量検査(超音波)
骨粗しょう症検診	1,000円	40・45・50・55・60・65・70歳の女性	健診センター	骨量検査(超音波)
肝炎ウイルス検診 ※3	無料	過去に一度も肝炎ウイルス検診を受けたことがない人	健診センター 受託医療機関 八戸市保健所	問診、血液検査(B型及びC型肝炎ウイルス検査) ※八戸市保健所の検査日は5ページに記載

令和7年4月1日より、がん検診が変わります。

令和7年度より、当市のがん検診は、国が示す「がん検診の指針」に基づいて補助を実施していきますので、以下の点を変更します。

○変更点1：子宮頸がん検診の受診間隔を2年に1回とし、補助の対象年齢を偶数年齢とします。

※奇数年齢の方で受診を希望される方は、全額自己負担で八戸市総合健診センター及び受託医療機関に申込みを行い、受診できます。

○変更点2：乳腺超音波検診と前立腺がん検診は、市の検診として実施しません。

※受診を希望される方は、全額自己負担で八戸市総合健診センターに申込みを行い、受診できます。

検 診 日

【八戸市総合健診センター】

【予約制】(月)～(金) ※祝日を除く

▼胃がん検診は午前のみ

▼子宮頸がん検診は(水)～(金)午後のみ

【受託医療機関】

各受託医療機関の診療日

申込方法

【八戸市総合健診センター】

※健診だよりによる申込みは行いません。

電話やFAXで直接健診センターへ

TEL 70-5563 / FAX 96-6124

(受付時間 午前8時～午後4時45分)

【受託医療機関】

直接受託医療機関へ

(18～22ページに記載)

がん検診で「要精密検査」と判定された方へ

がん検診での「要精密検査」は、がんの疑いがありという段階です。本当にがんであるか確かめるためには、精密検査の受診が大切です。

精密検査の結果、がんであっても早期発見・早期治療ができると、治る可能性が非常に高くなります。

要精密検査のお知らせと一緒に受診可能な医療機関の一覧を同封しますので、できるだけ早く精密検査を受けましょう。

注意事項

○各種検診の受診は、本年度内(4月～翌年3月)で1回です。2回目以降の受診は、検査に係る費用が全額自己負担となりますのでご注意ください。

○職場等で、同様の検診を受診している方は対象外です。

○対象者の年齢は、本年度内(4月～翌年3月)に達する年齢です。

○対象者のうち次のいずれかに該当する場合、検診の自己負担額が無料になりますので、予約の際にお申し出ください。(受診後の払い戻しはできません。)

①70歳以上(年度内に70歳になる方を含みます)

②一定の障がいをお持ちの65～69歳で、後期高齢者医療制度の被保険者 ③生活保護世帯 ④市民税非課税世帯

○生活習慣病予防のため、市の保健師・看護師・栄養士が電話や家庭訪問を行う場合があります。

※1)大腸がん検診は、生理中や痔出血がある場合、受診(検査)できません。

※2)乳がん検診は、次のいずれかに該当する場合、受診(検査)できません。

①妊娠中または授乳中 ②豊胸手術を行っている ③ペースメーカー、CVポート、V-Pシャントを装着している

※3)肝炎ウイルスは血液や体液を介して感染します。通常の日常生活で感染することはほとんどないため、繰り返し検査を受ける必要はありません。

前回の検査以降、感染が疑われる機会があった方は、医療機関へご相談ください。

